2000年 有珠山噴火 振り返

洞爺湖温泉街を淡い光で包んだエコキャ

シンポジウムであいさつする波岸裕光道獣医師会会長

当時、同センターにはボランティアとして、獣医、一般含めてのべ約5、500人が参加し348頭が救われ、のべ12、665頭が収容されました。しかし、約50頭前後がなくなったといわれています。

同シンポジウムでは、波岸裕光同獣医師会会長が「有珠山は周期的な火山であるので、次の噴火に備えていろいろな保護の方法を考えていく必要がある」と挨拶し、地元を代表して長崎町長が「今後の噴火においても、継続して動物達を守ってください」と動物救護の大切さを訴えました。

同センターに関った獣医ら5人が、災害時の動物救護のあり方について、当時の教訓を踏まえて講演を行いました。

当時の救護センター長であった内山博獣医は「次の噴火では、ペットを置いていかないでください。センターが責任を持って預かります」と力強く語りました。

特産品・地場産品即売会大盛況

特産品・地場産品即売会（主催とうや湖町特産品協議会）が温泉誕生100年と噴火10年を記念して4月17日旭町のAコープ前の駐車場で開かれました。

同協議会が2000年噴火の翌年から3年間感謝セールとして続けてきましたが、7年ぶりに復活しました。

地元の新鮮な野菜や加工品が格安で提供され、特に100円のホタテ稚貝、ジャガイモ詰め放題には、買い物客が殺到。そのほか長いも、トマトなどの新鮮野菜もすぐに売り切れて追加するほどの大盛況でした。

大人気の100円のホタテ稚貝詰め放題